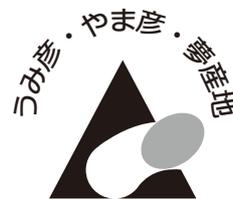


富山県朝日町

# 議会だより



第71号

平成23年11月1日

10/9(日)

ヒスイ海岸タラ汁まつり



## 第5回議会臨時会

ページ

- 除雪ドーザ購入契約締結に関する件 3

## 第6回議会定例会

- 22年度決算、23年度補正予算等 2~3
- 代表質問 3名 4~8
- 一般質問 6名 9~14
- 常任委員長報告 15~17
- 議会日誌 7月~9月 18

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会  
〒939-0793  
富山県下新川郡朝日町道下1133  
☎0765-83-1100(代)

22年度決算

千円単位:切捨て

一般会計（支出済額）	76億3,891万円
特別会計（支出済額）	
国民健康保険会計	14億6,145万円
老人保健医療事業会計	38万円
後期高齢者医療事業会計	4億1,707万円
簡易水道会計	2,871万円
下水道会計	8億2,115万円
南保外二地区用水会計	469万円
奨学資金会計	120万円
病院事業会計(収益的支出)	29億945万円

23年度補正予算の主なもの

千円単位:切捨て

一般会計（補正2号）	補正総額2,814万円
町道湯の瀬北又線災害復旧工事	2,814万円
一般会計（補正3号）	補正総額2,463万円
スクールバス運営費	2,463万円
一般会計（補正4号）	補正総額1億678万円
旧宮崎保育所跡地宅地造成工事	872万円
防災行政無線移設工事	115万円
携帯電話基地局施設設置工事	2,647万円
新エネ・省エネ推進事業	120万円
ごみ減量・資源化推進事業	268万円
美しい農村景観整備事業	120万円
農地水環境保全向上対策事業	258万円
森林病虫害等防除委託	939万円
水と緑の森づくり事業	80万円
県単独林業基盤整備事業	300万円
企業立地奨励事業	2,697万円
観光事業	204万円
町営住宅設備修繕	204万円
消防団運営費	622万円
防火水槽設置工事	740万円
閉校記念事業	100万円
特別会計	
国民健康保険会計(補正1号)	1,793万円
奨学資金会計(補正1号)	18万円

平成22年度決算、平成23年度補正予算、条例改正、人事案件・議員提出議案など26件を認定・可決・承認・同意

23年第6回議会定例会は、9月7日から22日までの16日間にわたり開催され、平成22年度決算や平成23年度の補正予算、条例の改正案、教育委員会委員の人事案件などの案件が審議され、原案のとおり認定・可決・承認・同意されました。また、議員提出議案が4件提案され、可決されました。

条例改正

- 朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件
- 朝日町税条例等一部改正の件
- 朝日町災害弔慰金の支給等に関する条例一部改正の件

人事案件

- 朝日町教育委員会の委員を任命するため同意を求める件

朝日町境1241番地1  
和泉幸一氏(64歳)の任命に  
同意

その他の案件

- 不動産の処分に関する件
- 中型バス(スクールバス)購入契約締結に関する件
- 不動産の取得に関する件

決議

- 消防広域化を朝日町、入善町、黒部市の1市2町とする決議

議員提出議案

- 円高・デフレを克服する経済対策を求める意見書
- 「子ども・子育て新システム」の撤回を求める意見書
- 「介護職員処遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める意見書

請願・陳情

- ◆採択となったもの
- 円高・デフレを克服する経済対策を求める請願
- 「子ども・子育て新システム」の撤回を求める請願
- 「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める国への意見書採択を求める陳情書

◆一部採択となったもの

- 町内の宿泊施設で合宿する学生団体に助成金を出されることを求める請願書

◆継続審査となったもの

- 朝日町立中央図書館の設置場所に関する陳情書

第5回議会臨時会

7月12日に第5回議会臨時会が開催され、上程された除雪車の購入にかかる案件が審議され、原案のとおり可決されました。

- 社会資本整備総合交付金事業除雪ドーザ購入契約締結に関する件



購入契約を締結した除雪ドーザ(同型)

議長交際費を公開します

平成23年  
7月1日～9月30日

項目	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	6	106,680
香典・生花・見舞	3	25,000
土産・贈答	1	12,600
負担金・会費	5	85,500
懇談会		
餞別・激励・協賛金		
その他		
合計	15	229,780

議会を傍聴してみませんか  
定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。日程については、議会事務局にお問い合わせください。

# 消防広域化について

水島 一友（創政会）

**質問** 新川地区の状況を考えると、グループ22と創政会の議員8

名は1市2町で広域化を進めるべきと結論を出しているが、町長の考えは。

**答弁 町長** 消防の広域化は消防力の強化であり、そのためには、あらゆる災害、事故に機敏に対応できる本部体制の充実が求められる。人員確保、高価な指令システム、特殊車両などに金がかかり、また、本部指令は専任の体制が必要と考えており、これは、到底町単独でできるものではない。

そうした面も含め、さまざまな角度から考えた結果、町民の生命と財産を守るには1市2町では不十分であり、より広い広域化が必要であると考え、3年前から8市町村で行われている県東部の広域化を目指してきた協議会に戻るべきとの考えに至った。これまでの経過から、立山町の参加は難しいと思うが、入善町、黒部市にも参加してもらえば、より消防力の強化に

なると考えている。

8月9日には黒部市長、入善町長と3人で話し、協議会から離脱したことを詫び、そして、より広い広域化が必要との考えを述べてきた。

**再質問** いろいろないきさつがあり、魚津、上市、舟橋、滑川は4つで進め、黒部以东はそれぞれが会を離れたが、9月議会で黒部市長、入善町長は、1市2町で一日も早く正式な協議に入れるよう努力したいと議会で発言されている。町長は、それを無視していかれるのか。

**再答弁 町長** 町民の生命、財産を守るといふ観点から広域化は避けて通れず、そのためには、入善町、黒部市も含めたより大きな広域化が地域住民の安全を保障することであり、また消防力の強化につながるという確信である。

**再々質問** 黒部市と入善町に理解を求めると言うが、9月議会でこれだけ発表されてしまった以上、黒部市長も入善町長も考えを変え

る気はない。また、黒部市議会も入善町議会も朝日町議会も変える考えはない。

やはり順番を踏んで、1市2町で基礎固めをして、そしてさらなる広域化に進むなら話がわかるが、私は創政会を代表して、町長の考えに賛成する気はない。

改めて、町長の考えを。

**再々答弁 町長** 飛び地をよしとするのではなく、入善町、黒部市も参加する、より大きな広域化が住民の利益になるという確信である。

介護、ケーブルテレビという1市2町の現実がある中で、消防の広域化はより広く、そして皆さんと一緒にやっていくことが私に課せられた責務と考えている。

## あさひヒスイ海岸周辺整備事業について

**質問** パークゴルフ場について、スポーツ振興、観光への活用、オートキャンプ場や高速パーキングエリアを結ぶ遊歩道など、大きな展望、視野に立った方針が必要と考えるが、18ホールの増設と将来展望について、当局の考えは。

**答弁 大井産業部長** ヒスイ海岸、オートキャンプ場、パークゴル

フ場と周辺の民間施設が有機的に連携し、観光の核として整備をしていくことが必要と考えている。

パークゴルフ場については、大きな大会を誘致するには、少なくとも3コース以上が必要と伺っており、既存コースの東側にある1.2ヘクタールの用地も念頭に、今後、コースの増設など整備に向けて検討したいと考えている。

**再質問** パークゴルフ場の将来展望について、もう少し具体的な考えは。

**再答弁 大井産業部長** 東側1.2ヘクタールの一部について、現在地権者と交渉中であり、話がまとまれば9ホール分として活用できると考えている。そうなれば、来年度に基本計画を立て、将来的には36ホールにしたく、その場合は、西側にも拡大の必要があるが、まずは東側1.2ヘクタールの整備を近々に検討したい。

## 観光について

**質問** 3市2町で構成する富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏協議会で事業が展開されている。町でも、「木曾義仲・巴と宮崎太郎あさひ塾」を通じたNHK大河ドラマ誘致に参加しており、ヒスイ海

岸、不動堂遺跡、朝日岳、温泉など多くの観光資源もある。また、ビーチの大会などには全国から来町し、近年、合宿等により学生の来町も増えている。

このような状況に対応できる観光課の設置、合宿等への宿泊補助について、どう考えているか。

**答弁 大井産業部長** 現在の職員配置から考えると、今すぐに観光課の新設は難しいが、外部から専門家を招へいすることも1つの選択肢であると考えている。

合宿などへの宿泊補助については、当町の恵まれたスポーツ施設や自然環境などを求めて、最近では毎年2千人超の学生が合宿で町を訪れており、交流人口拡大や地域活性化という点からも、修学旅行なども対象とした朝日町らしい合宿料金助成や支援策を検討するとともに、夏以外の合宿の働きかけや文化系サークルの誘致強化に努めたい。

**富山県立泊高等学校の存続について**

**質問** 泊高校存続と中高一貫教育に対する教育長の考えは。

**答弁 永井教育長** 県立高校再編の後期計画については、平成25

年度から平成27年度をめどに進める計画となっており、今は前期の再編状況の成果を見定めている状況にあると考えられる。

泊高等学校は、町の活性化や商業の振興、JR泊駅の利用拡大、並行在来線の存続、観光産業の発展など、経済効果や町の活力などにさまざまな恵みをもたらす貴重な財産と考えている。

教育面では、中高連携だけでなく、0歳児保育から高校まで一連の子育てや教育を考える上で、小学生は中学生を、中学生は高校生を学び、励むための手本やあこがれとして必要不可欠な高等教育機関だと考えている。

先日、県教育長に、町関係者と泊高等学校の存続についてお願いに行ってきたところである。教育長の回答は、「後期計画は、まだ検討の段階に入っていない」とのこと。だからこそ今が機会ととらえ、引き続き、中高連携事業の充実と成果のアピールや、町にとつての泊高等学校が持つ存在価値を強調しながら、存続に尽力したい。

## TPPと町の農業について

稲村 功（日本共産党）

**質問** TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について、町の農業に与える影響は甚大なるものになると思うが、どのように対応するのか。

**答弁 大井産業部長** TPPについては、農業分野だけではなく、すべてにおいて十分な検討や議論がなされていない。この状況で参加すれば、町の基幹産業である農業は、深刻な状態になる。

町の農業を守るため、平成22年12月議会と平成23年3月議会の2回、TPPへの参加に反対を表明しており、今後も引き続き国や関係団体に対し、反対の立場を表明していく。

**消防の広域化について**

**質問** 町長は、消防の広域化について、いつからより広い広域化を考えるようになり、広域化には何が重要だと考えているのか。

小規模な広域化で、さほど消防力が強化されず、財政負担が増えるのでは、住民の願いに応えることにならないのではないかと。

**答弁 町長** 3月11日の東日本大震災の惨状を目の当たりに見て、また4月5日に友好都市である釜石市に行き、自分の考えが甘かったと認識をした。

先日の台風12号でも百人もの死者、行方不明者が出るという痛ましい災害が起き、日常的に災害に備えること、消防力の強化が必要と痛感している。

広域化は、消防力の強化が目的である。あらゆる災害、事故に機敏に対応できる消防本部体制の充実、さらには高価な指令システムやはしご車、化学消防車、救助工作車が必要になり、当然、財政負担もある。

小規模な広域化では、それほど消防力の強化は期待できないと考え、負担が増えるだけになりかね

ない。1市2町より参加する自治体が増えれば、より消防力は強化され、逆に町の負担はそれだけ少なくなる。

### 並行在来線について

#### 質問

①三セク会社設立に伴う町の財政負担は。

②泊駅でのJR特急列車停車の存続、あるいは、県が代替列車を走らせるよう求めるべきである。

また、乗り継ぎや初乗り運賃などで、住民や県境を越える利用者に負担や不便が生じないように県に求めるべきである。

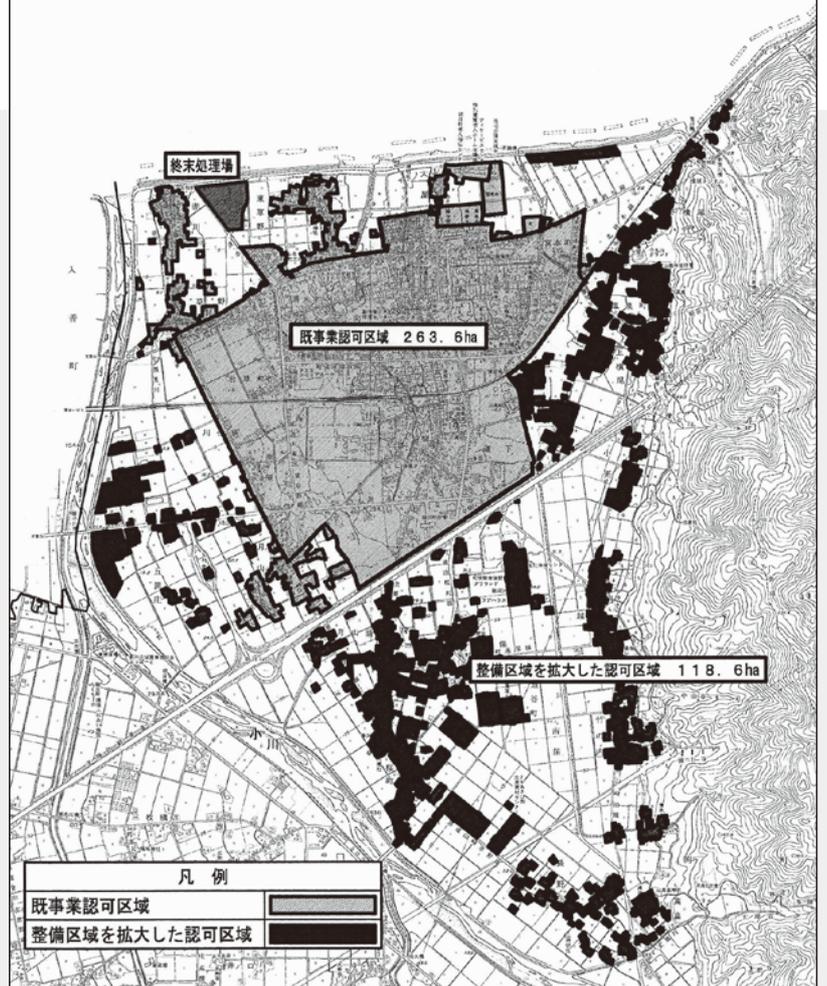
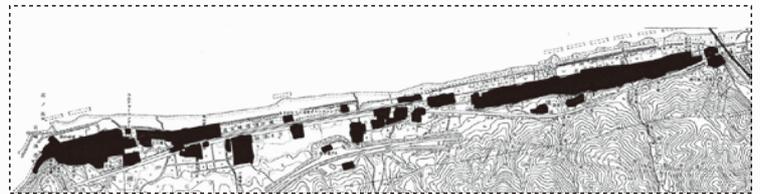
③黒部の新幹線駅へのアクセス鉄道として、地鉄との相互乗り入れも新川観光圏の取り組みとして重要だと考えるが。

#### 答弁 竹内副町長

①並行在来線に関して、引き続き国に対して、従来の枠組みの再検証、見直しなどを要請していく。今のところ、財政負担の具体的な数字は挙がっていない。

②特急列車の運行については、JRは金沢より東の運行は考えていないようであるが、町としては今後も要望していきたい。

また、県境を越える利用者に不便を強いることがないように、糸魚



平成19年度に見直された現在の下水道事業認可区域

川市とも連携を図りながら引き続き要望していく。

③富山地方鉄道線との相互乗り入れは、電源の直流、交流の違いなど難しい課題が多く存在する。

北陸新幹線の開業後は、人や物の流れが大きく変わることが予想され、観光、商業、工業、あらゆる角度で柔軟に検討していくことが必要である。

### 下水道について

#### 質問

平成24年度に全体計画を見直すとのことだが、どのように検討されているのか。

#### 答弁 大井産業部長

平成24年度には、小川左岸地域の大家庄地区並びに山崎地区の一部において事業計画の拡大を図り、合わせて笹川地区を含めて朝日町下水道全体計画の見直しを行う。

この見直しでは、建設費及び維持管理費、合併処理浄化槽による整備も含めて検討する。

合併処理浄化槽による整備区域を確立することになれば、受益者の敷地内に町が合併処理浄化槽を設置し、負担金、使用料をいただく市町村設置型と、従来どおりの、町から補助を交付し、個人で設置する個別処理型のどちらかを選択することになる。

## 消防の広域化について

加藤 好進（グループ22）

**質問** 黒部市・入善町・朝日町の1市2町の消防実務担当者がまとめた消防の広域・連携などに関する研究報告を、町長はどのように評価されたのか。

飛び飛び地でも消防力強化につながる」と発言されたが、どのような認識か。

また、広域化について、役場部課長や消防署員も意見具申をされているが、町長と同じ考えなのか。

**答弁** 町長 この研究会は、1市2町で広域化をするという前提ではなく、事務方でいろいろと研究、勉強をしてみようということで行われた。

町民の命と財産を守るために、最善の選択は何かということ、私なりにいろいろと勉強した。さまざまなことを考えると、消防力に加えて財政力の強化も必要であり、1市2町による広域化では不十分であると考えている。

飛び地での消防力の強化については、この新川地域は、高速道路、

8号線、そしてスーパー農道とそれぞれの基幹道路が貫通しており、特に高速道路の活用により救急、消防、救助という面では、心配は少ないのではないかと考えている。

広域化について、消防力の強化という目指す目的は町職員と一緒であるが、最終的に判断するのは、町長であり、より広い広域化を目指し、魚津市、滑川市、上市町、舟橋村の4市町村で協議会が進められ

ている、この10万人以上の協議会への参加を考えている。

**再質問** 消防力の強化という目的は町職員と一緒とのことだが、この「一緒」というのは4市町村の協議会に加わるのか。

**再答弁** 町長 議員の言う意味では、当初、一致してなかった。

**再々質問** 当初一致していないということは、この4市町村に加わるのは、町長の判断と違ってよろしいのか。

**再々答弁** 町長 財政面でも消防力の面でも、より広い広域化が必要という認識である。

**再々質問** 黒部市、入善町の協力を得て、できれば大きくしたいという話をされているが、大きくするのには、どれだけの時間を要すると考えているのか。

**再々答弁** 町長 入善、黒部の参加に期待を持って、いるが、それぞれの首長がそれぞれの住民の生命、財産を守るという観点から行政を行っておられるので、いつまでに説得してこいと言われて

自席から再質問をする加藤議員

も、お答えできない。

**再々質問** 協議会への参加が遅くなれば、最終的に町単独になりかねない。その場合、町民が一番困るわけであり、町長みずからが町民を不幸にすると思うが。

**再々答弁** 町長 町民の生命、財産を守るにはより広い広域化が必要である。そのため1市2町では不十分であり、朝日町として、魚津、滑川、上市、舟橋に入っていくことの意義は非常に大きなものがある。入善、黒部も大いに議論をしていただき、協議会に入っていたら、ただならば非常にありがたく、町長としても、町民としてもより広域化の成果が十分発揮できると考えている。

有磯苑施設増築工事入札について

**質問** 有磯苑施設増築工事の入札結果を見ると、残念ながら町外の事業者が落札している。建築主体工事は、3回目まで落札されているが、なぜ時間がかかったのか。

**答弁** 数家民生部長 事業主体である社会福祉法人有磯会が執行し、入札方法については、県の補助金交付要綱の規定により、町の入札制度に準拠して行うことから、



建設が進められる有磯苑の増築工事

電気設備工事及び機械設備工事は、1回の入札で落札者が決定したが、建築主体工事は、1回目の入札で入札価格が予定価格に達しなかったため再度入札を行ったが、2回目も予定価格に達しなかった。

このことから、有磯会では最低入札者と随意契約の協議を行ったが、合意に至らず、不調となり、その後、地域要件を魚津市以東から、石川県・富山県に範囲を拡大し、新たに入札が実施されたところ、落札となった。

**再質問** 町長は、経過についてどのように認識しているのか。

**再答弁 町長** 2回目の入札の際に、設計変更の有無を口頭で確認したが、変更がない旨の回答を得ているということであった。そして、2回目の入札後、数量変更があったとの情報があり、再度有磯苑に確認をしたら、数量変更を行い、2回目の入札の設計図書としたことを聞いた。有磯苑としては図面的な変更がないとの思いであったようだが、町としては大変遺憾なことだと認識をしている。

町は入札業務の指導・助言に当たってきた。  
町内企業の大部分が入札に参加できる条件で実施されたが、入札結果については大変残念な結果になったと思っている。

本文に掲載した記事以外の質問

- ◆水島一友議員
  - 建築予算について
  - ・予算計上する際の積算について
  - 観光について
  - ・観光案内板の充実について
  - 国民健康保険税条例一部改正について
  - ・町民への説明について
  - ・提案時期について
- ◆稲村功議員
  - 野田新内閣と町政について
  - ・消費税の増税について
  - あさひ総合病院について
  - ・医師、看護師不足の解消について
  - ・救急患者受入れの制限解除について
- ◆加藤好進議員
  - 町政運営について
  - ・国民健康保険税の税率改正について
  - あさひ総合病院について
  - ・町づくりについて
  - 富山ライン天然ガス建設計画について
  - ・五箇庄小学校跡地活用について
  - ・図書館建設について
- ◆西岡良則議員
  - 町の活性化対策について
  - ・合宿誘致による交流人口の拡大について
- ◆長崎智子議員
  - 教育環境整備について
  - ・子ども居場所づくりと自治振
- ◆興会との関連について
  - あさひヒスイ海岸パークゴルフ場について
  - ・休憩所の設置について
  - 町税収納に関する現状と今後の対策について
  - ・滞納者に対する納税督促方について
- ◆笹原靖直議員
  - まちの活性化について
  - ・町全体の組織体制の見直しについて
  - 安心安全なまちづくりについて
  - ・スクールバス購入にともなう運行について
- ◆水野仁士議員
  - 介護保険制度と病院について
  - ・精神科医師について
  - 当局の考え方について
  - ・泊宿（とまりどまり）と境の関所について
- ◆水間秀雄議員
  - 図書館と多目的施設について
  - ・図書館建設検討委員会では、どのような内容が検討されているのか
  - 住民要望について
  - ・あさひヒスイ海岸パークゴルフ場のコースの増設について
- ◆蓬澤博議員
  - 国民健康保険税について
  - ・今後の取扱いについて
  - 近隣市町との連携について
  - ・消防の広域連携について

## 東日本大震災における釜石市への 今後の支援と町の防災対策について

西岡良則

### 質問

友好都市である釜石市に  
対して、今後はどのような支援を  
続けていく方針なのか。

釜石市の現地視察を町防災対策  
にどう生かしていくのか。

### 答弁 町長

釜石市とは定期的に  
に連絡を取り合っており、先日、釜  
石市の総務課長から、年明けから  
本格的な復興になると思う、朝日  
町や姉妹都市の東海市にもぜひ建  
築や土木の関係者の協力をいただ  
きたいと伺った。町民の協力をいた  
だいて、息の長い支援をしていき  
たい。

町防災対策については、全国瞬  
時警報システム「Jアラート」の  
整備、県内初となる「エリアメー  
ル」のサービスを開始した。そして、  
町民に一部負担をいただくが、ラジ  
オ付き戸別受信機を10月から配布  
できると思う。また、防災行政無線  
や広報紙、ケーブルテレビ等でもさ  
まざまな情報を提供していきたい。  
防災訓練の大切さも痛感してお  
り、これから、地域の皆さんにも協

力をお願いしたい。

また、町地域防災計画の抜本的  
な見直しもしなければならず、災  
害に応じたきめ細かな対策が必要  
であると考えている。

### 再質問

町には、雨による土砂  
災害の発生の恐れのある箇所が183  
カ所、県指定の土石流危険渓流、地  
すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危  
険箇所が計168カ所指定されている  
中で、対策工事や被害が予想され  
る範囲や避難場所対策をどのよう  
に考えているのか。

### 再答弁 小川建設課長

土砂災

害警戒区域について、平成21年に  
浸水ハザードマップと合せて、人家  
が連たんする場所で災害の危険性  
がある区域は、図面として各戸に  
配布している。

毎年、危険箇所パトロールをし、  
町から県へ砂防事業や急傾斜地崩  
壊対策事業を要望しており、現在  
も5件の土木工事が進められてい  
る。

土砂警戒区域には、避難指示を

出す基準などがまだ定められてお  
らず、今後、県では調査に基づき、  
例えば、雨量計の設置などはまだ  
まだ不十分であるので、そういう  
ものを今後設置しながら、基準対  
応をしていくと伺っている。

### 町の活性化対策について

### 質問

①自然体験学習による交  
流人口の拡大を図るため、官民一  
体となり事業の拡大や推進をして  
いく必要があると思うが、町の今  
後の対応は。

②オートキャンプ場やパークグ  
ルフ場などを訪れる客や乗用車、  
観光バスによる交通人口を対象と  
した「道の駅」の試験的な特産品



小学校3年生の農林漁業宿泊体験活動

直売所を設ける考えはあるか。

### 答弁 坂口産業課長

①本年6

月に「あさひふるさと体験推進協  
議会」を発足させ、夏休みを利用  
し、町内の小学校3年生を対象に  
農林漁業宿泊体験活動を行った。

活動の主体となった協議会の会  
員は、農協・漁協をはじめ、農林漁  
業関係者や観光団体、体験活動を  
実施している活動組織、県・町が加  
わって構成されている。

子どもの体験活動をきっかけに  
設立された団体だが、今後は観光  
客や大人も対象とした幅広い活動  
を展開していけるよう、さまざま  
分野の方々にも参加していただき  
たいと思っている。

②新たに直売施設を設置した場  
合、多くの品目を常に一定量取り  
揃えなければならず、町内の農業  
者や漁業者、商業者などの協力が  
不可欠となる。

また、設置場所についても、日常  
的に利用する顧客の利便性を考慮  
して選定する必要がある。さら  
には、安心・安全、管理、運営、盗難な  
どの課題が多くあることから、直  
売施設を設け運営することは、慎  
重に検討しなければならないと考  
えている。

## 教育環境整備について

長崎 智子

**質問** ①町民の夢をはぐくむ、将来を担う子どもたちが必要とする図書館の建設はいつ頃か、具体的な進捗状況を。

②さみさと小学校の運動服が変更される予定で、運動服の助成制度を検討しているとのことだが、どのような内容か。

**答弁** 水島教育委員会事務局長

①新図書館の建設に向けて、10名の図書館建設検討委員会委員を嘱託し、これまで4回の会議を開催してきた。今年度末までには図書館建設基本計画を策定し、平成24年度に実施計画、平成25年度には建設に着手したい。

②さみさと小学校では、開校以来、現在の運動服を使用しており、最近は、安くて素材の良いものが流通していることから、昨年より運動服の変更が検討されている。

教育委員会としては、統合に関わらず、今後、学校単位で運動服を変更する場合に、保護者の負担を軽減するため、運動服の助成制

度を検討している。この助成は、子育て支援の施策として、単年度で終わるものではなく、すべての小学校の入学生全員に対しても助成を行っていききたい。

町税収納に関する現状と今後の対策について

**質問** 町税の収納率等の収納状況について伺う。

**答弁** 大村財務課長

町税の収納状況について、平成22年度は一般会計の現年度分が調定額15億7千

882万5千4円に対し、収入済額15億2千235万9千953円、収納率96.42%、滞納繰越分が調定額2億2千697万1千961円に対し、収入済額2千445万6千927円、収納率13.08%、特別会計である国民健康保険税の現年度分が調定額3億664万8千4百円に対し、収入済額2億9千188万1千948円、収納率95.18%、滞納繰越分が調定額7千437万4千199円に対し、収入済額1千27万4千312

円、収納率14.07%である。

**再質問**

議会初日に監査委員から報告があり、納税に関して、公平性の観点から悪質な滞納者に対し、差し押さえなど強硬な対策をとってほしいと指摘をされている。当局は、監査委員の意見を聞き、具体的に何かあるのか。

**再答弁** 大村財務課長

当面は、県との共同徴収体制を基本として強化していききたいと考えている。

**再々質問**

固定資産税の不能欠

損額について、平成21年度は174万700円であったのが、平成22年度は3千937万8千276円となっているが、いかなる理由か。

**再々答弁** 大村財務課長

不能欠損額の増は、倒産された一事業所だけで3千9百万円ある。破産管財人に対し差し押さえの手続を踏み、資産の競売が行われたが、町に配当がなかった。その後、資産もすべて処分されたために回収不能になり、不納欠損とした。

あさひヒスイ海岸パークゴルフ場について

**質問**

現在の2コース、18

ホールでは、県大会などができないと聞いている。町の活性化のためにも、第3コース、第4コースの増設の考えはないか。

**答弁** 小川建設課長

県内や全国で行われている公式大会の状況を見ると、大会規模だけでなく、芝生管理や一般利用者との兼ね合いからも、最低でも3コース以上が必要と考えている。

今後のコースの増設等、整備に向けた検討をしていきたい。



連日賑わうパークゴルフ場

# まちの活性化について

笹原靖直

**質問**

企業誘致・支援などに対して柔軟に対応できる基金の創設と、専門的な人材の選任・育成を含めたシステムの強化・確立を進めるべきと提案する。

**答弁** 坂口産業課長

これまで、朝日町企業立地奨励事業補助金交付要綱の大幅な見直しを行い、企業誘致に努めてきた。

基金については、現在の予算体系で対応できており、専門的な人材の配置については、外部人材の採用も選択肢の一つと考えている。

**再質問**

企業誘致をするだけの体制がなく、計画、目標を立てる中で実効性ある活動をする組織を作るべきだと思うが。

**再答弁** 竹内副町長

基金があれば、印象度が増すと思うが、そういった対外的な観点からの効果なども検討し、どうあるべきか考えたい。スタッフの問題は、町の課題に対する取り組み方が重要であり、職員定数も考慮し、より戦略的な考えを持ち、検討していきたい。

**安心安全なまちづくりについて**

**質問**

①消防の広域化について、県東部各市町村の方針や構想は、

2008年8月の「しんぶん赤旗」では、広域化に否定的な考えであるが、当時の認識はどうか。

消防体制の強化を主張、力説するが、耐震性能を満たさない消防庁舎をどうするのか。

**答弁** 町長

①立山町は単独で選択し、富山市と連携協定を結ばれた。上市町、舟橋村、滑川市、魚津市の4市町村は、広域化の協議に入っている。黒部市は9月議会で

1市2町を目指すとし、入善町は9月議会で県1つの広域化が理想であり、そのために、1市2町の広域化からの考えである。

赤旗の記事について、一党一派に偏らない、これが私の町長としての基本姿勢である。当時、広域化は地

域の議論で進めるべきと考えていたが、職員削減など合理化につながってはならないと現在も考えている。

消防庁舎は、新たな場所への新築整備に向けて検討したい。

**再質問** 飛び飛び地となる広域化のメリットとデメリットは。

**再答弁** 町長 高速道路で結ばれているという点では「飛び地」という概念は発生しない。

**再々質問** 全国での広域化の進捗状況と、飛び飛び地を含む実例は。消防署として町長に具申したと聞いたが署長と副町長の意見は。

**再々答弁** 谷口消防署長 全国で6地区において広域化が実施されており、飛び地はない。

消防は1分1秒でも早い対応が求められる、特に救急業務は人命にも関わる。昨年の出動件数が過去最高の490件を数える中で、通常業務において、隣というか、広域を組む他署からの増隊により初動態勢の増強が見込める消防力の強化を目指せば、住民にもわかりやすいと町長に伝えてある。

**再々答弁** 竹内副町長 消防署長の言ったことが共通認識である。

**再々質問** より広い広域化に向けて、まずは1市2町という手順を踏むことが理解を得られると思

うが。

**再々答弁** 町長 それにより、大きな広域化の実現が先に遠のくという理解、認識である。組織を作ると、しばらくは固定化されるのが現実で、1市2町で先行することは、町民の利益にはつながらないという認識で答弁をした。

**再々質問** 飛び飛び地等のメリット等を答えてない。

**答弁** 山崎あさひ総合病院事務部長 ②新病院開院以来、6年連続の赤字で、現金預金は平成22年度末に3億8千343万円、5年間で7億2千139万円減少し、未処理欠損金は平成22年度末までに27億9千917万円が累積されている。

**再質問** 累積赤字が膨らんでいくのではないかと。

**再答弁** 山崎あさひ総合病院事務部長 現金預金は、今のペースでは今年度、もしくは平成24年度中になくなる。今後、町からの繰入金をお願いせざるを得ない。

**再々質問** 経営そのものに危惧を抱くが、町長の今後の方針は。

**再々答弁** 町長 担当者を交えて対応を検討しており、医師・看護師の確保に全力を挙げつつ、累積赤字にも何らかの手を打たなければと思っている。

# 認知症・うつについて

水野 仁士

**質問** 介護予防の取り組みの中で、認知症やうつの早期発見に、どのように取り組んでいるのか。

県下でも入善・朝日の両町は、自殺率が高いと聞いているが、町は、学校も含め、予防の普及・啓発対策、家族からの相談にどのように対処しているのか。

**答弁** 町長 当町では、認知症や閉じこもりなどの早期の発見を目的として、65歳以上を対象にした介護保険の生活機能評価の実施や、要介護となる可能性が高いと思われる方については、介護予防教室への参加を勧めるなどの訪問指導を行っている。

はつらつ健康サロンを昨年からはじめたが、一般高齢者を対象に、運動機能の向上、閉じこもりや認知症、うつ予防の講話を織りまぜて啓発に努めている。

このほか、地域において孤立しがちな高齢者を支援するため、高齢者訪問支援活動を実施するとともに、各種事業を通して生きがい

づくりの推進を図っている。

自殺予防対策としては、自殺予防の普及・啓発に取り組んでおり、9月1日、広報あさひと合わせて、町で作った啓発チラシを全戸に配布した。

平成21年度から、うつ病相談窓口を保健センターに開設しており、必要に応じて、医療機関や専門相談機関に紹介するなどの対応を行っている。

## 町の普通財産売却について

**質問** よこお団地は44区画中25区画が残っており、価格の再検討をしようか。

保育所跡地などに地区から利活用や売却の要望があれば応えるべきであり、売却できる町所有の土地は早めに売却するべきと思う。

**答弁** 大村財務課長 現在、町が所有している普通財産は3万4千929㎡あり、旧保育所跡地など、利目的が定まっていらない公共施設

跡地が増えている。

全体の公共施設のあり方を見据え、町有地全体の利用計画を立案する必要が有ると考えているが、一方で町民の要望や人口減少対策、定住対策に機敏に対応することも必要であると考えている。

このようなことから、旧宮崎保育所跡地は、地区の要望を受け、宅地造成工事を施工し、宅地分譲を行う予定にしており、また、それ以外の旧保育所跡地についても、地区要望との調整を図った上で望ましい利用方法について調整・検討したい。

それ以外の利用目的がなく売却可能な土地については、できるだけ早く売り払う方向で取り組んでいく必要があると考えている。

**答弁** 小川建設課長 平成19年度から定住サポート事業を創設し、転入者の購入促進を図っている。

町外から4人家族で転入する場合は、住宅取得奨励金など4つの奨励制度を合わせ、最高2百万円の交付額となり、これを差し引くと、よこお団地は坪当たり5万円台の価格帯で購入が可能となる。

本年度から町内の方に対しても、よこお団地の購入奨励金を交付する制度に見直したほか、朝日町地域材活用促進事業の導入により補

助制度を設け、朝日産材を使った場合に最大50万円を交付する。

早期の完売を目指し、事業のPR、購入区画の柔軟な対応など販売促進に努め、単価の見直しを含めた販売促進策を検討したい。

## 地域経営の店舗について

**質問** 辻岩崎地区も高齢者が多く、買い物弱者や買い物難民が増加しているが、高齢者の多い地区の集落経営の店に、行政として支援・振興策はないか。

**答弁** 坂口産業課長 当町では、買い物弱者の解決策として、まずは普段どのような手段で買い物をし、どのような不都合があり、どんな支援を望んでいるかなどの実態を地区ごとに調査することとしている。調査結果を参考に町内の事業者等と相談するとともに、国や県の支援事業の活用を視野に入れ、支援策を検討してまいりたい。

地域で共同経営をしている店舗は、今後、公共性の観点からも重要な施設になると考えられ、何らかの支援ができないか検討してみた

## 防災対策について

水間 秀雄

### 質問

①6月議会で、津波対策として避難喚起表示、海拔表示などを設置することを求め、今後検討したいという答弁であったが、その後どのようなになっているか。

②地域の実情に応じて津波、土砂災害、洪水などに対応した避難場所の設置や避難訓練を住民と協議して実施すべきではないか。

### 答弁 町長

①誘導看板及び海拔表示板だけでなく、避難経路や夜間停電時等に対応した照明をつけた装置なども検討しており、効果的な設置場所や表示内容、デザイン等について現在研究をしている。当面の措置として、自治振興会の施設や公共施設等を中心に、海拔表示を施設内に掲示するなど、防災意識の向上になればと考えている。

土砂災害に対する備えも重要となってきている。避難喚起、誘導看板についてはこれまで以上に住民に対する周知に工夫をしていきたいと考えており、よりわかりやすい

表示内容になるよう、県にも働きかけていきたい。

②災害があつた場合、被害を最小限に抑えるためには、町民一人一人が迅速かつ的確な避難行動をとることが最も重要である。平成19年度から毎年、地区持ち回りで町主催の防災訓練を実施し、町民の防災意識の普及・高揚を図っており、各自主防災組織を対象とした防災研修会の開催や防災に関する出前講座も実施をしている。

### 再質問

表示板を公共施設などにと言われたが、避難するところはどこかというものを、まず、毎日見るとごみ収集場所につけて、それから海拔表示などを早くやっていただきたい。

### 再答弁 竹内総務部長

表示板については、どういった手法で、町全体の中で表示がどうあるべきかを踏まえて進めなければいけないと思っており、当初予算に反映できる形で取り組んでいるので、もう少しばらく時間をいただきたい。



あさひ総合病院前の交差点

## 住民要望について

### 質問

①従前より中学校横、スーパー農道交差点に押しボタン式信号機の設置を求めてきたが、現在どのように検討されているか。

また、あさひ総合病院前の県道交差点の見通しが悪く、町民は信号機などの安全対策を要望している、対策を考えているのか。

②年々アメリカシロヒトリが増え、町内会で薬剤散布を行っているが、おぼつかない状況であり、今後、町は住民と協力して対策を強化すべきと思うが。

### 答弁 竹内総務部長

①朝日中学校周辺のスーパー農道交差点への押しボタン式信号機の設置につ

いては、地区やPTA等からの要望はないが、教育委員会としては、中学校校舎前に横断歩道があることから、安全面を考慮して、信号機を設置できないか関係機関へ働きかけを行っている。

あさひ総合病院前の県道交差点については、これまで関係者による現地確認を行い、県警本部へ継続的に信号機設置の要望を行ってきたが、交通量が少ないことや交差点付近に病院への緊急車両の出入り口があることなどから、現在、設置が見送られている。

町としては、交通事故の危険性と地元要望もあることから、引き続き、関係機関と連携をし、設置に向けて要望してまいりたい。

### 答弁 数家民生部長

②アメリカシロヒトリは、全体に広がる前の幼虫時に、枝葉を切り取れば、被害を最小限に食い止めることができると、既に分散してしまった場合には、薬剤を直接幼虫に散布し駆除する対処方法となる。

町では、街路樹や公園、学校や保育所などの町有施設については、発見次第駆除に努め、民家や民間施設などの樹木は、町内会等からの要請により、薬剤散布機を無料で貸し出している、ご活用いただきたい。

# (有)あさひふるさと創造社の業務体制について

蓬澤 博

**質問** (有)あさひふるさと創造社はなないろKANとらくちーのとは異なるが、就業規則、定年年齢はどうなっているのか。

また、定款では、監査役の監査は、会計に関するものに限ると規定されているが、これで良いと判断しているのか。

**答弁** 大井産業部長 施設の業務形態が異なるため、それぞれの就業規則を設置しているが、共通部分の整合性を図るため近々改定されると聞いている。定年については、なないろKANが63歳、らくちーのが65歳となっている。

**再質問** らくちーのには定年年齢に抵触している職員がいるのではないのか。

**再答弁** 大井産業部長 利用者に迷惑をかけないように、移行期間には弾力的に、(株)らくちーのの就業規則を運用させていただいた。

**再々質問** 監査について、町から施設の管理を請けている指定管理者の会社がそういう状況でいいのか。民間の同族会社なら理解できるが、指定管理者がこれでもいいとすれば、就業規則の問題のように齟齬が生じるのではないのか。

**再々答弁** 町長 執行機関は取締役会であり、株主総会で承認することはあっても何ら問題はないと考えている。

**再々質問** 町は株主だが、株主総会で問題の指摘を一切していないのか。指定管理者の会社をどう監督していくのか。

**再々答弁** 町長 株主としての意見は述べてきている。町監査委員からの指摘もあり、すべての指定管

理者について、一層管理を厳格にするよう指導していかねばならない。

下水道事業の今後の予定について

**質問** 今後、下水道事業はどのように伸展するのか。大家庄地区、山崎地区のような散居村地区はどのようなになるのか。

**答弁** 大井産業部長 平成24年度に小川左岸域の大家庄地区並びに山崎地区の一部において事業計画の拡大を図る。併せて笹川地区を含めた下水道事業全体の見直しを行い、建設費及び維持管理費、下水道事業以外の整備手法、すなわち合併処理浄化槽による整備も含めて検討する。

## 最近の入札結果について

**質問** 最近の入札結果は不調が続いていると聞くが、どうなのか。発注時の提示資料は適正なのか。

**答弁** 大井産業部長 下水道工事の入札件数は、本年4月以降、16件実施しており、一般競争入札が10件、指名競争入札が6件である。この入札結果については、1回目での落札が7件、2回目での落札が8

件、不調が1件となっている。不調となった原因は、町では初めて採用する特殊な管の使用実績がないことなどが落札に至らなかった原因と考えている。

提示資料については、他の公共土木工事同様、設計図面、数量表並びに設計書を提示しており、県内市町村が使用している県土木部の積算基準などに基つき、適正な設計図書の作成に努めている。

**再質問** 有磯苑増床工事の入札参加の範囲が石川県まで広がったのはなぜか。

**再答弁** 竹内副町長 できるだけ町の業者をという観点から、1回目の入札が魚津以東という条件で行われたが、残念ながら不調に終わった。その後、工期や工事内容のこともあるので、事業主体である有機會の考えを尊重し、有機會の判断に任せた。

**再々質問** 3回目の入札で、当初の予定価格のまま設計数量が増えた内容で公告されているのはおかしいのではないのか。

**再々答弁** 大村財務課長 数量を見直して入札が行われたが、結果としては問題ないと思う。ただ、変更についての報告がなかったのは残念である。

# 常任委員長報告

## 総務産業委員会

当委員会は、9月16日午後1時から、及び20日午前10時からの両日開催し、議会から付託されました9議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定・可決・承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

1. 消防広域化に関して、今後のスケジュール等を明確に示されたい。
2. 町内の宿泊施設で合宿する体育会系サークルのみならず、文科系サークルの学生団体にも助成金を出されるよう配慮願いたい。
3. 現入札制度については不備な点も多々見受けられるので改善されたい。

次に、請願の審査結果を申し上げます。

今期定例会において、議会から付託されました新規の請願2件のうち、「町内の宿泊施設で合宿する学生団体に助成金を出されることを求める請願書」については、請願内容が2件ありましたが、そのうち「町内の宿泊施設で合宿をする学生団体に、町として一人一泊幾らかの助成金を出されることを要望する件」のみを採択とする一部採択に決しました。

また、「円高・デフレを克服する経済対策を求める請願」については、願意妥当と認め、採択にすべきと決しました。

## 民生教育委員会

当委員会は、9月16日午後1時から、及び20日午前10時からの両日開催し、議会から付託されました、11議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案

件は、それぞれ原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

1. 現在、図書館建設検討委員会において、新図書館の建設基本計画を検討されているが、図書館本来の目的を念頭に置き、町民が親しみ、利用しやすい施設となるよう、設備や機能、建設場所などについて熟考されたい。

次に、請願・陳情の審査結果を申し上げます。

今期定例会において、議会から付託されました新規の請願1件、「子ども子育て新システム」の撤回を求める請願」については、願意妥当と認め、採択にすべきものと決しました。

新規の「陳情」2件のうち、「『介護職員待遇改善交付金事業』を平成24年度以降も継続することを求める国への意見書採択を求め陳情書」については願意妥当と認め、採択にすべきものと決し、「朝日町立中央図書館の設置場所に関する陳情書」については、継続審査とすべきものと決しました。

## 研修視察報告

8月2日から4日にかけて、愛知県の日進市立図書館、同じく愛知県の名古屋市緑区役所徳重支所等共同ビル、愛称「ユメリア徳重」及び同ビルにあります徳重図書館、静岡県の静岡市御幸町図書館を視察・研修してまいりました。

日進市は、愛知県のほぼ中央に位置し、名古屋市の東に接していることから、大都市近郊の学園都市として発展、現在の人口は8万2千人を超え、今もなお人口が増加している市であります。

日進市立図書館は、平成20年10月に新図書館がオープンし、建設費29億4千4百万円、敷地面積約1万1千5百㎡、鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積約6千㎡で、設計者は最高裁判所や警視庁の設計も手掛けた岡田新一氏であります。

建物の四隅に配置された塔が目を引き外観が印象的で、館内は図書館ゾーンと会議室や作業室などのワークシヨップゾーンが、フリースペースやテラス、庭を介して有機的に結び付けられており、利用者が自由に憩い、交流できる空間と



日進市立図書館 外観

なっています。

館内には、約3百席を設けた広々とした一般図書閲覧スペースのほか、児童コーナー、児童専用サービスデスク、子ども用トイレなどの児童サービスの充実、小中学生を対象としたティーンズコーナーの設置、合計百席以上の学習室、図書の貸出・返却カウンターから独立したレファレンスサービス、ICタグを利用した自動貸出機が導入され、午後8時まで開館しており、また、時間外貸出ロッカーなどがあり、

誰もが利用しやすく、またくつろいだ気分でも過ごせる図書館となりました。

また、フリースペースにある軽食喫茶コーナーは精神障害者小規模授産施設が運営し、障害者の雇用創出にもなっており、店内以外でもテラスやフリースペースにあるテーブルで飲食することができま

す。平成21年度の貸出数は115万4千点と、人口6万人以上10万人未満の単独館としては、全国445館中、1位の貸出数で、平成22年度の速報値では貸出数が120万点を超え、入館者数も60万人を超えるなど、図書館としての機能はもとより、市民の憩いの場として愛され親しまれている図書館でした。

名古屋市緑区は、市の東南部に位置し、その中でも人口増加の著しい東部の行政サービスの拠点として、区役所支所、地区会館、保健所分室、図書館の公共施設と民間商業施設を一体的に整備した、緑区役所徳重支所等共同ビル、愛称「ユメリア徳重」として昨年5月に開設され、敷地面積約1万㎡、鉄骨造地上4階建て、延床面積約1万3千㎡で、そのうち公共施設部分に当たる約78%、7千7百㎡を市が

20億7千375万円で取得しました。

昨年11月に隣接地に大型ショッピングセンター「ヒルズウォーク徳重ガーデンズ」がオープンし、また、今年3月には地下鉄が延伸、建物の真下に駅が新設され、高速道路も供用を開始して近くにインターチェンジがあるなど、鉄道・車でのアクセスも向上し、人の賑わう場所となっています。

公共施設同士をつなぐスペースには、訪れる人々の集い、憩い、交流の場として、また、区民と行政の協働の場として「区民プラザ」が設けられており、ここでは、「みどり区民プラザサポートクラブ」というボランティアの皆さんが、館内の案内や見守り活動、情報発信をしておられます。この方々は、ユメリア徳重の建設計画段階からワークショップに参加され、そのままボランティアをされておられるということでした。

徳重図書館は、名古屋市21番目の図書館として開設され、2台の



徳重図書館 館内の様子

自動車図書館も含めて、市の図書館ではどこで借りても、どこで返却しても良いことになっています。

徳重図書館は人が賑わう場所にあることから、利用者数も多く、オープン時の所蔵冊数4万5千冊、現在は5万5千冊まで増えました。現在、常時、3万5千冊ほど貸し出ししており、棚には本が少ない状態です。昨年は年度途中の5月のオープンであったにも関わらず、利用者数は15万人を超え、貸出冊数は53万冊以上、図書館面積の割には、市内でもかなり上位にランクされてお

り、平成23年度は現在のところ、利用者数は昨年度比で25%増となっているそうです。

図書館の横に併設されている地区会館には、住民がサークルや各種教室などに利用できる集会室や実習室、和室、茶室、児童室、体育館などが整備されていますが、こちらも毎日予約で埋まっており、区役所支所や図書館といった公共施設同士の複合、民間商業施設との複合による相乗効果を実感することができました。

静岡市は、人口約72万人の政令指定都市であり、図書館は移動図書館を含め12館あります。

JR静岡駅前の御幸町伝馬町第一地区市街地再開発事業に伴い、再開発ビルの4階から7階を静岡市が買い取り、4階、5階に図書館6階、7階に都市型産業支援施設を整備することとなり、平成16年に御幸町図書館がオープンしました。

駅前市街地に立地し、通勤・通学者が利用しやすいことや、電子媒体、インターネットやデータベースが充実していることから、静岡市内12図書館で比較した場合、貸出冊数は47万冊でありそれほど多くありませんが、入館者数は52万人

と、圧倒的に多い状況であります。

御幸町図書館では、住民の課題解決として、「ビジネス支援」、「多言語支援」、「医と健康支援」に取り組んでおられます。

ビジネス支援では6階、7階にある産学交流センターや中小企業センターとの連携、多言語支援では外国人の読み聞かせボランティアや日本語学校との連携、医と健康支援では、県立こども病院図書

室のネットワークに参加されています。

5階はビジネス支援、多言語支援に特化したフロアで、ビジネス書、専門書、外国語資料、郷土資料が並んでいるほか、経済・産業関係や外国の新聞など107タイトルに及ぶビジネス関係雑誌の配置、法律関係、経済・経営情報関係のデータベースの充実などが特徴的です。

4階の一般図書スペースも充実しており、わかりやすい分類、見やすい配置の工夫、多種多様な一般雑誌、また、児童コーナー・ヤングアダルトコーナーを設け、幼児から小中学生、高校生と年代に関わらず楽しめる、心地よく過ごすことができる空間となっていました。

医と健康支援の一環として、一昨年から、「病院・医師を探す」、「薬を調べろ」、「知って防ごう 知って治そう 乳がん」などのタイトルで、図書館にある関係図書・データベースの案内や関連するウェブサイトを、紹介したチラシを配布し、住民の課題解決と図書館の利用促進に取り組んでお

れます。

昨年からは、文部科学省が始めたプロジェクト「図書館海援隊」に参加され、過労死やパワハラ等職場の問題、自殺予防、メンタルヘルス対策、就職・再就職、労働関連法規などに関する図書・相談窓口の案内も始めており、住民の課題解決に向けた図書館からの情報発信や、図書館の利用促進に真摯に取り組んでいる姿が印象的でした。

今回訪問しました3つの図書館は、自治体の規模、立地環境や施設の形態・設備、建設までの経緯などは異なりますが、それぞれに求められている図書館の使命を果たすために、さまざまな取り組みに努力しておられました。

当町は、今回の訪問先と比較すると自治体としての規模は小さく、見てきたものをそのまま取り入れるというわけにはいきませんが、今後、図書館の建設にあたり、参考とすべき部分、アイデアとして活用できる部分が多くある事例ではないかと感じており、住民から親しまれ、愛される図書館となるよう、委員会としても今回の視察・研修で学んだことを生かしていきたいと考えております。



御幸町図書館 研修の様子

# 議会日誌

## 七月

- 8日 議会運営委員会
- 12日 第5回議会臨時会
- 新川中部地区基幹農道整備事業促進協議会総会 (黒部市)
- 14日 朝日・魚津間林道建設促進協議会総会(魚津市)
- 朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会総会(魚津市)
- 15日 東部山麓道路建設促進期成同盟会総会(魚津市)
- 並行在来線対策等特別委員会
- 19日 新川地域推進協議会(魚津市)
- 水博物館構想推進協議会(魚津市)
- 魚津・朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会総会(魚津市)
- 日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議総会(魚津市)
- 下新川海岸整備事業促進議員連盟総会(魚津市)

## 八月

- 20日 全員協議会
- 22日 議会だより編集委員会
- 25日 朝日宇奈月線改良促進期成同盟会総会(入善町)
- 黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会(入善町)
- 舟川総合開発促進期成同盟会総会(入善町)
- 26日 日中友好富山県地方議員連盟理事會・総会(富山市)
- 29日 朝日町・国県要望行動(富山市ほか)
- 2日 民生教育常任委員会研修視察(愛知県ほか)
- 3日 東部土木振興会総会(入善町)
- 黒部川治水同盟会総会(入善町)
- 11日 富山県日韓友好議員連盟理事會・総会(富山市)
- 12日 議会運営委員会
- 25日 全員協議会
- 30日 新川地域推進協議会県要望行動(富山市)
- 並行在来線に関する正副委員長会議(魚津市)

## 九月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 東京朝日会総会(東京都)
- 7日 第6回議会定例会本会議(提案理由説明・細部説明)
- 9日 議会運営委員会
- 14日 本会議(代表質問)
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 総務産業常任委員会
- 20日 民生教育常任委員会
- 22日 民生教育常任委員会
- 23日 釜石市東日本大震災犠牲者合同慰霊祭(釜石市)



### 編集後記



…「もののはあはれは 秋こそまされ」…

(徒然草第19段)

あはれ 秋風よ  
情あらば 伝えてよ…  
さんま苦いか塩っぱいか…

(秋刀魚の歌)

秋を愛する人は 心深き人  
愛を語るハイネのような  
多くの恋人 (四季の歌)

読書の秋と言います。私はこれまで趣味は読書と言って憚りませんでした。

しかし、私のそれは、ただ書物の間を漂泊していたに過ぎなかった人生、喜寿を迎えての感想です。

9月定例会の議会だより刊行の運びとなりました。

どうかご一読の上、議員諸氏の心血を注いだ論戦を、眼光紙背に徹していただきますようお願いする次第です。

#### ◇ 議会だより編集委員

- 水島 一友 大森 憲平
- 蓬澤 博 長崎 智子
- 稲村 功